

ISSN 0910—9293

宮城県保健環境センター年報

平成元年度

ANNUAL REPORT
OF
MIYAGI PREFECTURAL INSTITUTE OF PUBLIC HEALTH AND ENVIRONMENT

No.8 1990

宮城県保健環境センター

は じ め に

宮城県保健環境センターで平成元年度に行った事業実績の概要及び調査研究の結果を取りまとめ、年報として発刊する運びとなりました。ご高覧いただき御意見、御批判を賜れば幸いです。

近年、われわれの健康水準は生活環境の向上、医療技術の進歩、公衆衛生の徹底などにより著しく改善され、その結果人口構造の高齢化が進み、本格的な長寿社会が到来する中、単に生活環境を守ることばかりでなく、より豊かで質の高いやすらぎや潤いのある健康な生活を維持することへの関心が高まっております。

一方、環境問題は以前とは質が大きく変化してきております。従来の産業型公害は、防止計画や適切な行政指導によって地域的には顕著な成果をあげてきており、むしろ最近ではゴルフ場の農薬やスパイクタイヤの問題などが大きく取り上げられるようになってきております。また、地球規模ではフロンガス等によるオゾン層の破壊、二酸化炭素等による温暖化、酸性雨による森林の消失などが深刻な問題として取り上げられております。

本格的な高齢化社会のおとずれ、複雑多様化する環境問題の現状はまことに厳しいものがあり、これらを解決するには多くの課題をかかえております。

このような状況の中で当センターの担うべき科学的・技術的役割はますます増大する一方、環境の変化に対応しつつ県民の健康で安全な生活を守り、快適な生活環境をいかにして後世に引継いで行くかが重要な課題ではないかと職員一同認識しております。これまでも職員一人一人がその責任を自覚し、保健衛生及び環境衛生両分野にわたる調査研究、試験検査等に創意工夫をこらし、行政施策に反映される科学的情報資料を提供することに努めてまいりました。当センターが更に将来にわたり時代の要請を先取りした研究課題に取り組むためにも、また保健環境行政の技術的中核として、その役割を果たすためにも関係各位の御理解と御支援が是非必要であるものと考えております。

年報を発刊するに当たり御指導、御協力いただきました皆様に心から感謝申し上げますとともに、今後一層の御指導をお願い申し上げます。

平成2年8月

宮城県保健環境センター

所 長 佐々木 智 司

目 次

A 事業概要

I 総 説	1
1. 沿 革	1
2. 機構および事業分担	1
3. 職 員	2
4. 予算および決算	3
5. 主要機械器具	3
II 概 況	
1. 情報管理部の概況	7
2. 微生物部の概況	10
3. 理化学部の概況	17
4. 環境衛生部の概況	25
5. 大気部の概況	29
6. 水質部の概況	33

B 調査研究

I 論 文	
1. 感染症発生子測カレンダー製作の試み(第1報)	37
助野 典義, 三浦 英美, 紺野 光雄, 石田名香雄 鈴木 宏	
2. 感染症サーベイランスデータ解析の試みⅡ	40
三浦 英美, 助野 典義, 紺野 光雄	
3. 環境影響評価に係る事後調査結果について	43
渡辺はるみ, 米山 達彦, 小葉松英行, 紺野 光雄	
4. 先天性副腎過形成症マス・スクリーニング(第2報)	46
沖村 容子, 山田久美子, 白石 廣行, 山本 仁	
5. 神経芽細胞腫マス・スクリーニング	49
清野 陽子, 加茂えり子, 白石 廣行, 山本 仁	
6. 先天性甲状腺機能低下症マス・スクリーニング	54
沖村 容子, 白石 廣行, 遠藤 善宏, 高橋 栄美 新妻 澤夫, 山本 仁	
7. 平成元年度日本脳炎疫学調査	56
— 宮城県におけるコガタアカイエカの発消長・ と殺豚H I抗体の動向および住民の中和抗体保有状況 — 山本 仁, 秋山 和夫, 御代田恭子, 佐久間 隆	
8. 1989～1990年の冬季における宮城県内のインフルエンザ流行状況	61
御代田恭子, 佐久間 隆, 秋山 和夫, 山本 仁	
9. 下痢症患者からの病原菌検出	64
— 感染症サーベイランス事業の検査成績から — 村上 仁, 荒井 富雄, 高橋 成人, 山本 仁	

10. 食肉残留抗生物質および豚胃内容中の抗生物質	68
白地 良一	
11. 有機塩素系殺虫剤エンドスルファンの食品中残留	71
佐藤 郁子, 鈴木 滋, 高槻 圭悟, 菊池 格	
12. 市販ドリンク剤及び健康飲料中の水溶性ビタミン等の含有量実態調査	74
勝倉 由美, 鈴木 滋, 高槻 圭悟, 菊池 格	
13. 高速液体クロマトグラフ法によるオキシリン酸の簡易分析法	77
高槻 圭悟, 菊池 格	
14. 魚介類中のトリブチルスズオキシド(TBTO)の実態調査	81
佐藤真貴子, 菊池 秀明, 鈴木 滋, 佐藤 勤	
菊池 格	
15. 食品汚染物摂取量調査(Ⅳ) — 1987~1989 —	84
鈴木 滋, 菊池 秀明, 佐藤 勤, 佐藤真貴子	
百川 和子, 勝倉 由美, 佐藤 郁子, 庄司 晃子	
高槻 圭悟, 菊池 格	
16. 金アマルガム法による魚介類中及び食品中の水銀の分析	89
佐藤 郁子, 菊池 秀明, 菊池 格	
17. 宮城県の水道水質(第三報)	93
平 富貴, 白鳥 徳男	
18. 水道水の異臭味に関する研究 — 分析法の検討 —	98
木戸 一博, 小野 研一, 高橋紀世子, 白鳥 徳男	
19. 酸性雨自動測定結果について(昭和63年度)	102
百川 和子, 小島 秀行, 仁平 明, 齋藤 達夫	
20. 台風通過による大気質の変化について	109
小島 秀行, 百川 和子, 仁平 明, 齋藤 達夫	
21. 石巻市内幹線道路沿線のNO _x 濃度調査	112
氏家 愛子, 大金 仁一, 佐藤 博明, 浦山 清	
小島 秀行, 齋藤 達夫	
22. ダム流域の土壌特性と流入河川水質の関係について(第2報)	116
大庭 和彦, 佐々木久雄, 伏谷 均, 安斎 文雄	
八木 純, 鈴木 弘一	
23. 七北田ダム貯水池の水質特性	127
佐々木久雄, 伏谷 均, 大庭 和彦, 安斎 文雄	
藤原 秀一, 八木 純	
24. 県内環境測定分析統一精度管理調査結果	131
— 全窒素の昭和61~63年度3ヶ年度間のまとめ —	
清野 茂, 藤原 秀一, 藤原 成明, 齋藤 善則	
伊藤 孝一	

II 資 料

1. 新生児マス・スクリーニング	137
沖村 容子, 山田久美子, 白石 廣行, 山本 仁	
2. 1989年感染症サーベイランス事業 — 病原体検出情報 —	138
微生物部	

3. 食品中トリコテセン系かび毒の分析	140
鈴木 滋, 菊池 格	
4. 食中毒原因食品中のヒスタミンの分析	141
高槻 圭悟, 鈴木 滋, 菊池 格	
5. 医療品の試買検査結果(平成元年度)	143
勝倉 由美, 佐藤 郁子, 鈴木 滋, 菊池 格	
6. 環境騒音調査結果	144
加藤 憲治, 柳田 則明, 榎野 光永, 齋藤 達夫	
7. 特定施設以外から発生する悪臭の実態調査	147
佐々木俊行, 榎野 光永, 齋藤 達夫	
8. 北海道, 東北地区の湖沼マップについて	148
佐々木久雄	

C その他

I 発表論文抄録

1. 高速液体クロマトグラフィー法によるマス・スクリーニングの実績	154
実績報告③ - 宮城県 -	
白石 廣行, 清野 陽子, 加茂えり子	
2. Human Parvovirus (HPV/B19) Infection with Purpura	154
Hiroyuki Shiraishi, Koji Umetsu, Hitoshi Yamamoto	

II 学会発表	155
III 研究発表会	157
IV 談話会	160
年報執筆要領	161